

増田2年ぶり優勝 ブリツツェン

雨沢6位

国際自転車競技連合(UCI)公認のツール・ド・おきなわは13日、沖縄を舞台に21世紀の森体館を発着点に行われ、県勢は宇都宮ブリツツェンの増田成幸が2年ぶりの度目の優勝を飾った。増田は9月のツール・ド・北海道に続く国際レース優勝と力を見せつけた。

宇都宮ブリツツェンのエースが「北海道」に続き「おきなわ」も制した。増田成幸がシーズンで国際レース二回目のタイトルを奪取。「最高の形でシーズンを締めくくれた。感無量」と喜びをこみしめた。

宇都宮ブリツツェンのエースが「北海道」に続き「おきなわ」も制した。増田成幸がシーズンで国際レース二回目のタイトルを奪取。「最高の形でシーズンを締めくくれた。感無量」と喜びをこみしめた。

宇都宮ブリツツェンのエースが「北海道」に続き「おきなわ」も制した。増田成幸がシーズンで国際レース二回目のタイトルを奪取。「最高の形でシーズンを締めくくれた。感無量」と喜びをこみしめた。

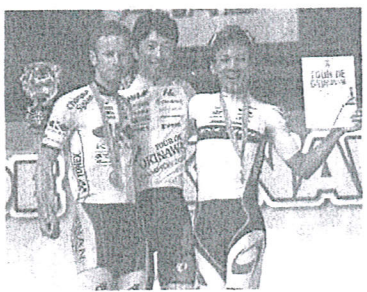
残り15キロから有終のスパート



残り約15キロからアタックし、独走でゴールするブリツツェン増田成幸。沖繩県、阪本竜也さん撮影

教訓生かし積極戦術 増田

初優勝した一昨年、残り10キロから飛び出し、独走のゴール。今回も独走での優勝となったが、前回は22位。「最後に仕掛けよう」とスタミナを温存しておいたが、後手な展開を許したが、序盤にライバルチームの逃げを許したが、チームメイトが支え、エースがその期待に応える。絵に描いたような勝利に「厳しくマークさせる中で勝てたことは格別」と増田。万感の思いを胸にシーズン最終戦を締めくくった。



シーズン最終レースを1位で締めくくり表彰台で笑顔を見せるブリツツェンの増田(中央)＝沖繩県、阪本竜也さん撮影

宇都宮ブリツツェンのエースが「北海道」に続き「おきなわ」も制した。増田成幸がシーズンで国際レース二回目のタイトルを奪取。「最高の形でシーズンを締めくくれた。感無量」と喜びをこみしめた。

宇都宮ブリツツェンのエースが「北海道」に続き「おきなわ」も制した。増田成幸がシーズンで国際レース二回目のタイトルを奪取。「最高の形でシーズンを締めくくれた。感無量」と喜びをこみしめた。